



石川けんじ

ニュースレター

第79号(改題87号)

社民フォーラム 市議団版

〒980-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1
電話 022-214-8717(直)
FAX 022-711-3453

過去最大の新年度予算可決

令和6年度予算案など78件の議案を審査した仙台市議会第1回定例会は3月14日、全議案を可決し閉会しました。

一般会計予算は、総額6,481億円で過去最大規模となりました。感染症対策費が前年度当初予算比で約100億円の減少するものの、国の物価高騰対策の定額減税対応の歳出増により膨らみました。特別、企業の2会計を合わせると過去最大の総額1兆2,236億円にのぼり、13年連続の1兆円超えとなりました。

子ども・子育て・教育環境の充実

子ども・子育ての充実では、妊婦検診や不妊治療への助成、昨年11月に誕生した「こども財団」運営費、男性育休取得奨励金、「こども誰でも通園制度」の試行、児童館へのエアコン設置などが盛り込まれました。

教育環境の充実では、特別教室や体育館へのエアコン設置、小学校6年生への35人以下学級の導入、私学で東北初の「学びの多様化学校ろりぽっぴ小学校」(太白区)やフリースクールへの通学費支援、市バスと宮城交通バスが利用できる新たな学生フリーパスの導入などが予算化されました。

「ナノテラス」本格稼働へ

最先端研究開発拠点の中核となる「ナノテラス(次世代放射光施設)」の本格稼働に合わせ地域中核企業育成に取り組むほか、農業の新技术導入の実証事業、国際相互交流の拡大、三巡目となる「東北絆まつり(6/8~9)」の開催などに取り組みます。

まちづくりでは、市役所本庁舎や泉区役所の建替え事業、都心再構築、勾当台公園・定禅寺通周辺整備などを進めます。

環境分野では、防災環境都市・脱炭素先行地

域づくり、事業者のゼロカーボン応援、家庭ごみ収集運搬ルート最適化実証事業などに取り組みます。

「ダイバーシティ」推進

健康アプリ等を活用した市民の健康づくりに取り組む「健康の都せんだい」や在宅医療の推進、介護人材の確保等を行うほか、ダイバーシティ(多様性を生かしたまちづくり)推進、新婚新生活支援や子どもの居場所づくり支援などが盛り込まれました。

物価高騰対策など補正予算

令和5年度の一般会計補正予算では、新型コロナウイルスワクチン接種費の追加や保育所等における性被害防止対策費を計上したほか、物価高騰対策事業として私立保育所の運営委託費、市有施設(指定管理)運営管理費の追加などが計上されました。

敬老乗車証制度見直しに議論集中

敬老乗車証の負担額の上限額を25%に引き上げる制度見直しの条例改正関係では、制度の維持は大切な課題であり、低所得者への配慮やチャージの利便性向上なども講じられることになりました。

【提出された意見書の採択結果】

- ☆採択:「ライドシェア導入に対する慎重な議論を求める件」
- ☆否決:「現行の健康保険証の存続を求める件」
(立憲民主党仙台と日本共産党仙台市議団の共同提出)

【採択された決議】

- ☆「市内病院を含む4病院再編構想に関する件」
- ☆「パレスチナ自治区・ガザ地区における平和の早期実現に関する件」

【付帯意見】

教育委員会が令和6年度に導入予定の「学校納付金に係る集金アプリ」については、新たな手数料が発生することや、保護者らへの説明不足等について問題があるとして、議会として令和6年度一般会計予算に付帯意見を付しました。

予算審査で4度登壇

私は予算等審査特別委員会（予算委）で総括質疑を含め4度登壇しました。以下、概要について報告いたします。

自転車等の交通安全対策を求める

長年求めている自転車用ヘルメット購入への補助制度の導入が期待される事業が新年度に試行されます。

高校生を対象に行う「自転車ヘルメットモニター事業」について当局は「高校生へのアンケート結果等を踏まえ、高校生に自転車の安全利用等の向上につなげていく」との考えを示しました。

また、自転車利用時の交通ルールの順守やマナーの向上にむけ、市内のツーリンググループなどによる公道での模範走行の実施を求めました。

「電動キックボード」のレンタル事業が2月末から市内での営業が始まりました。警察庁が、昨年7月から12月の半年で電動キックボードの交通違反の摘発件数が7,130件あったとの発表を踏まえ、歩道走行による歩行者の安全性の確保など、事業者と利用者へのルールやマナーの順守の周知・啓発などの対応を求め、当局は「違反行為の根絶に向け取り締まるよう通達がなされており、警察と連携を深めていく」と応じました。

「公共交通無料デー」の実施を提言

学生が宮城交通と市バスが乗り放題となる新たな学生フリーパスとなる「仙台バスフリーパス」（月額8,000円）が今年10月から始まることを踏まえ、スムーズなスタートを切れるよう努力を求めました。

また、公共交通の新たな利用者の発掘を含めた利用促進や地域経済の活性化等を目的に、路

線バスや鉄軌道などの公共交通を一日無料で何度でも利用できる取り組みが西日本を中心に広がりを見せていることを踏まえ、本市でも「公共交通無料デー」に取り組むよう提案したのに対し、「様々な課題があることから、他都市の取り組み等を参考にしながら調査研究を進めていく」との答弁に留まりました。

仙台市の農業従事者は人口比わずか0.4%! 小さな農業で就農者増と農地の活用策で質疑

本市農業は、「農業施策基本方針」により取り組んでいるにも関わらず、従事者の減少や高齢化が進み、耕作放棄地が増え続けている現状にあります。

私は、本市計画と現実に乖離があると指摘した上で、就農者の増加や農地の活用が期待される事業として広がりを見せる、農家と消費者が支え合う「コミュニティ支援型農業（CSA）」や小規模農業の育成などに取り組むよう求めました。

当局は、CSAについて基本方針に掲げ、その効果等について認識しているものの「情報収集を進めていく」との答弁を繰り返しました。

＝ 総括質疑 ＝

災害対応力や防災力の向上

能登半島地震を踏まえ、避難所のあり方等ついて、被災者に対する人道支援の最低基準を示した「スフィア基準」の立場に立った見直しを

求めたのに対し、「本市避難所運営マニュアル等に（スフィア基準の）記述はないが、避難所環境を検討する際の考え方」と合致しているとの認識を示しました。

4 病院再編構想に対する

県議会で再編に係る予算案などが本日（3月13日）可決されたことを踏まえ、県議会で可決されたことへの受け止めと、今後の県との協議への影響について質し、当局は「国が付した条件や県議会が県として関係者との丁寧な説明等を行う付帯意見が付されたことを踏まえ、県は本市との協議を進めてほしい」とした上で、「県には、本市に根拠となるデータ等を示していただき、その上で市として判断できるようしっかりとした気持ちで県との協議に臨む」と答弁しました。

市税とふるさと納税、宿泊税

本市へのふるさと納税は、直近で収入が5億円弱であり、一方個人住民税の減収は、新年度予算で54億円を見込んでいることが明らかになりました。減収額54億円の75%が国から補填されても14億円の減収となることなどから、「引き続き、指定都市市長会として国に対し制度の見直し等を求めていく」としました。

今議会で議論となっている宿泊税の導入の検討については、宿泊者が享受する本市の行政サービスに対する応益負担の側面を持っていることなどから、地方自治体の自主財源の確保策として認められている法定が目的税である宿泊税の導入については許容できるものと考えますが、導入の目的等の基本理念と方針、用途の明確化と公開の透明化のほか、教育や子育て、福祉等の宿泊に対する配慮を求めたのに対し、当局は「観光の魅力を高めること、用途や効果をわかりやすく示す」「官民連携による協議会を立ち

上げ毎年度の取り組みを検証し公表する」等の考えを示したものの、教育等への配慮については、「シンプルな制度を求める宿泊事業者の声もあり、教育的配慮等について今後検討する」と答えました。

出生数7000人を割り込む 少子化対策・子育て支援策

本市の出生数は、数十年にわたって少子化対策を進めたにも関わらず、7000人を割り込み6684人となりました。

これまでの少子化対策の総括的答弁を求めたのに対し、様々な取り組みを行ってきたとし「令和4年度の1000人当たりの出生数は全国や県を上回っている」と効果を強調しつつも、「さらなる取り組みが必要」との考えを示しました。

昨年発足した「子ども財団」の人員については、新年度に4名から8名に倍増することを明らかにしました。

一方、「（仮称）子どもの権利条例」の制定については、「制定の効果を見極めつつ、子ども基本法の理念に基づき施策を進める」とこれまで同様の答弁に留まりました。

敬老乗車証制度の見直し

「敬老乗車証条例の一部を改正する条例」および関連する予算案「敬老乗車証の交付事業費」については私は、見直しの背景には、公共交通の厳しい経営があること、市民の足を維持し利用促進を図るカギは109万市民の中にあるとの認識に立つべきだとして、交通政策の面から、負担への市民理解や協力が、今後の市民の足の確保や維持に貢献することを強調すべきと訴えました。

これに対し当局は、「見直しの背景や必要性のほか、制度や利便性向上策のていねいな説明、説明会などの周知に努める」と応じました。

今後の
主な予定

- 4月 2日 仙台市博物館再開館記念式典
- 15日 文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会
- 19日 経済環境常任委員会
- 5月 中旬 会派他都市視察
- 22日 文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会
- 23日 仙台市・富谷市広域行政協議会常任委員会
- 29日 第2回定例会議案説明
- 31日 仙台市都市計画協議会
- 6月10日 第2回定例会市議会開会(~25日)

実現しました!

歩きやすい 歩道に改善

向陽台4丁目の傷みが激しい歩道の修繕が行われました。



ゴミ集積所の増設

向陽台4丁目に14戸の新築住宅が建ち、ゴミ集積所が足りないとの声が寄せられ、町内会と連携して行政に要望し増設されました。



◆私の話を直接聞いてみたい方 お伺いいたします。

市政などについて話を聞いてみたい方、お気軽にご連絡下さい。

◆市政に対する相談やご意見は 石川けんじ事務所までお寄せ下さい。

〒981-3102 泉区向陽台4丁目16-11
(旧七十七銀行向陽台支店様向かい)
TEL342-1095 FAX342-1096

石川けんじ主な役職

- ◇経済環境常任委員会委員
- ◇文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会委員長
- ◇仙台市都市計画審議会委員
- ◇仙台市・富谷市広域行政協議会常任委員

お願い

『石川けんじニュースレター』を郵送でお届けしている方につきましては、私の情報不足から、すでにお亡くなりになられた方や転居された方へも送付してしまうなど、ご迷惑をおかけしていることもございます。

その際は、ご面倒でも石川けんじ事務所までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

また、お名前やご住所に誤字等がある方および『石川けんじニュースレター』が不要の方もご連絡いただきますようお願い申し上げます。

あなたのご意見をお待ちしています。

市政に対するご意見やご提言をお寄せ下さい。

FAX 022 (342) 1096 **メール** ishiken@sea.plala.or.jp

【ご意見・ご要望・ご提言】

【お名前】

【ご住所】

【TEL】

()

【FAX】

()

【メールアドレス】

@